



GREEN LETTER

グリーンレター

Vol. 256

2018/04/01

今月の一枚

今月のイベント

参加者募集

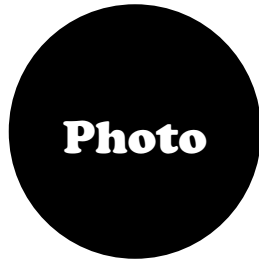
GREEN COLUMN

01. 元町2遺跡の擦文土器

02. 美幌の車窓から



今月の一枚



「春間近の風景」

表紙写真・文／八重柏誠

すっかり日が延び、午後6時近くなっても空は明るくなってきました。それに伴って気温も上がり、博物館の前に広がる畑からは、耕作土が見え始めてきました。そんな畑を眺めていると、日に日に春が近づいていることがわかります。畑の雪が完全に溶け、トラクターが畑を耕し始める頃、美幌に春が訪れます。

Event. 今月のイベント

特別展「大美博展」 ～7月1日（日）

プチ工房「ストローのコースター」 4月11日（水）, 12日（木）

ロビー展「お宝見せます」 4月21日（土）～5月15日（火）

国際博物館の日 記念行事 4月28日（土）

博物館講座（自然編）「化石を見つけよう」 4月29日（日）

Information. 参加者募集

プチ工房 「ストローのコースター」

● 4/11（水）, 12（木）10:00-12:00, 14:00-16:00 自由に入室。作品ができたなら終了 ●美幌博物館 1F 講座室 ●材料費（200 円） ●八重柏誠（美幌博物館） ●申込み不要。小学校 3 年生以下は保護者の同伴が必要。

国際博物館の日 記念行事

● 4/28（土）9:30-17:00 入館無料

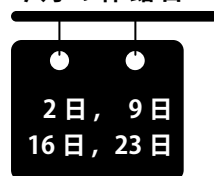
【展示解説】〈午前の部〉10:00 - 12:00, 〈午後の部〉14:00 - 17:00 ●美幌博物館 2F ●美幌博物館 学芸員 ●申込み不要

【コーヒーサービス】〈午前の部〉10:00 - 12:00, 〈午後の部〉14:00 - 17:00 ●美幌博物館 2F ●無料

博物館講座 「化石を見つけよう」

【観察会】 ● 4/29（日）9:30 - 12:00 ●網走川河川敷（集合解散は博物館） ●保険料（100 円）、野外で活動できる服装（長袖、長ズボン、帽子）、長靴、雨具、防寒着、お持ちの方は、ハンマー、ゴーグル（スキー用のものでも可） ●町田善康（美幌博物館） ●美幌博物館へ電話申込み（4/1 - 4/25）。キャンセルは 4/25 まで。それ以降は保険料 100 円がかかります。対象は中学生から一般。小学生も参加可能ですが、小学校 3 年生以下は保護者の同伴が必要, 定員 25 名で締切。小雨決行。荒天時は、中止となります。

今月の休館日



〈凡例〉 ●日時 ●場所 ●費用, 持ち物 ●講師 ●申込み方法

01 GREEN COLUMN グリーンコラム

元町2遺跡の

さつもんどき 擦文土器

図・文／八重柏誠



3月24日から美幌博物館 30 年を締めくくる特別展「大美博展」がはじまりました。この展示会では、美幌博物館で過去 26 回行われた特別展の目玉資料や学芸員オススメのお宝を展示しています。その中で私のオススメのお宝として、元町2遺跡から出土した擦文土器を展示しました。

美幌町元町地区は北海道内有数の遺跡がある場所として、広く知られた存在です。この地からは、旧石器時代から擦文文化期までの様々な時代の遺物が出土しています。擦文文化期は、北海道の時代区分の7世紀から12世紀頃にあたります。この文化は7世紀後半頃、本州からの影響を強く受けていた道央から道南部で成立し、道東方面には9世紀後半から10世紀頃に広まってきました。元町遺跡群では、元町2遺跡から擦文文化期の住居跡が40軒確認されており、住居跡から出

土した土器の表面に残された文様の特徴から、住居跡は9世紀末から12世紀頃に使われていたものと考えられています。特に9世紀末～10世紀頃の資料が数多く出土していることから、元町2遺跡の擦文土器は、道東地域に擦文文化が広まってきた初期の遺跡であることを指し示す資料として、とても貴重なものです。

元町遺跡群からは、旧石器時代の多様な細石刃石器群や続縄文時代の琥珀玉が副葬された墓など、特筆される資料が数多く見つっていますが、その中でも、元町2遺跡の擦文土器は、知る人ぞ知る貴重なお宝と言えるでしょう。

02 GREEN COLUMN

グリーンコラム

美幌の 車窓から

写真・文／城坂結実



先日、数年ぶりに美幌から北見
先 行きの列車に乗りました。車
に頼りきりで、すっかり忘れていまし
たが、久方ぶりの車窓の景色はとても
面白いものでした。そんなわけで今回
は、美幌から北見行きの列車から楽し
むことができる、春のお花見スポット
をご紹介します。

美幌駅を出発するとすぐに、進行方
向左手に丸い屋根の美幌博物館が見え
てきます。博物館周辺に広がる「みど
りの村森林公園」には、植えられたも
のも含めて1千本以上のエゾヤマザク
ラがあります。桜が咲く季節には、公
園の山全体がピンク色に染まるほどで
す。

列車は美幌博物館を後にして、しば
らく川沿いを走ります。川の名は「木
禽川^{きんがわ}」。アイヌ語でキキンニと呼ばれ
るエゾノウワミズザクラがたくさんあ
ることが、名前の由来とされています。

エゾノウワミズザクラは、5月下旬に
白い房状の花を咲かせる樹で、今も川
沿いにその姿を見ることができます。

川沿いから、列車は徐々に森の中へ。
手が届くようなところまで、木々が
迫ってきます。一見単調な景色のよう
ですが、進行方向右手に目を凝らすと、
アズマイチゲやオオバナノエンレイソ
ウなどの草花がたくさん見られます。
白い花が一面に咲き乱れる様は、この
森の春の風物詩です。

そのまま右手を眺めていると、針葉
樹の森を過ぎる頃に、小さな川が入り
乱れたような湿地が現れます。この湿
地は、ミズバショウ（写真）の群落が
見られる美幌町では貴重な場所。この
グリーンレターが届く頃には、花を咲
かせているかもしれません。

お花見列車に乗って、春を感じてみ
てはいかがでしょうか。

【発行】

美幌博物館

【デザイン・編集】

城坂結実・八重柏誠

【お問い合わせ先】

美幌博物館

北海道網走郡美幌町字みどり 253 - 4

Tel / 0152 (72) 2160 Fax / 0152 (72) 2162

mail / museum@town.bihoro.hokkaido.jp

<http://www.town.bihoro.hokkaido.jp/museum/index.html>

無断掲載・転載を禁ずる

学芸員のつぶやき



北海道大学植物園に行きました。最近「エアプランツ」という名で人気の観葉植物があったのですが、なんとパイナップルの仲間。そう言われると、似ているような。自宅にもあるのに、全く気がつきませんでした。(城坂)